

# まなざし

Vol.16  
2018.3

「まなざし」・・・すべての人と人がやさしい、あたたかいまなざしで互いを見つめ、認め合い、誰もが目線を同じにして相手を思いやる平等な社会にむけて。



『ことばはプレゼント』  
増岡 弘さん講演から

…関連記事 P7…

- |       |       |  |
|-------|-------|--|
| 【もくじ】 | P2～P3 | 素敵な人みつけた！ みよし キラッと☆インタビュー              |
|       | P4    | 男女共同参画推進フォーラムIN国立女性教育会館(ヌエック)          |
|       | P5    | 日本女性会議2017とまこまい                        |
|       | P6    | 考えよう、私たちの働き方                           |
|       | P7    | 「ことばはプレゼント」ヒューマンフェスタ2018<br>平成29年度活動報告 |
|       | P8    | 女性相談・DV相談・編集後記                         |





高橋 まゆさん

高橋まゆさんは3人のお子さんがいるんですが、より規模も大きく、にぎやかにになりました。高橋まゆさんは3人の



# みよしキラッとインタビュー

三芳町には素敵で元気な女性がたくさんいます。  
今回は竹間沢公民館活動や藍染などで活躍している一色さんと、上富で農業センターを中心にカミトメマルシェを開いた高橋まゆさんのお二人にお話を伺いました。



一色 玲子さん



型染によるポーチ

## 藍染をはじめたきっかけ

竹間沢に住んで33年、時間のあるままに公民館や資料館のイベントにいろいろ参加してきました。

その中で歴史民俗資料館に移築復元されている旧池上家は藍を育て、藍玉を作り売ることのできる成したと知り、一色さん自身も以前住んでいたところで藍染を学んでいたこともあり、三芳町で藍染をやってみようと思ったといいます。以前資料館の館長をされていた松本さんの勧めもあり、藍の種を入手し、栽培することによって徐々に量を増やし、資料館だけでなく竹間沢公民館や学校な

## カミトメマルシェ開催のきっかけ

上富地区は、ケヤキの並木が続く、いも街道を挟んで両側に、200年以上の歴史を持つ農家が点在しています。最近、この地域で女性が元氣と聞いてたずねてみました。

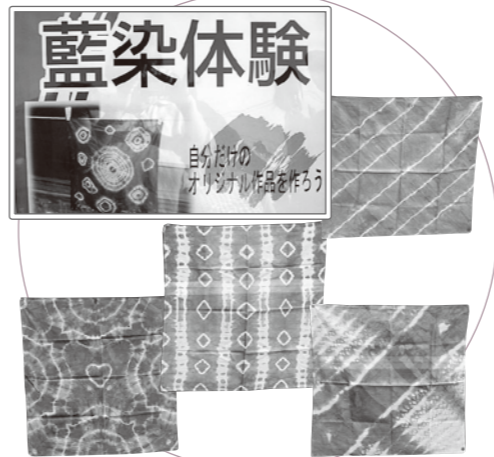
12月の小春日和の日曜日、リニューアルされた農業センターと島田家住宅前では、「カミトメマルシェ」が開かれ、大勢の家族連れでにぎわっていました。

「カミトメマルシェ」は三芳町が農業センターを活用するアイデアコンペを募集した時、地元の高橋まゆさんが応募し、それがきっかけで友達4人を中心

## 地域に根差した活動

どで藍染の体験学習をするようになり、今は藍染だけでなく草木染も楽しませてもらっています。また、伝統的な図柄の型紙の型紙を創るサークルも立ち上げ、仲間と作品づくりに励んでいます。

その一方で、公民館をよりの編集、マンスリースクウェアのスタッフ、ふれあいサロンのひん館などにも関わっています。人々との出会いの中で、いつの間にか『自分の楽しみが大きな励みになっていきます。それが原動力でしょうか』、ときいきと語ります。



若いお母さんです。所沢のサラリーマン家庭に育ったまゆさんは、バイト先で知り合った高橋敦士さんと結婚。敦士さんは江戸時代から続く高橋家の十一代目でサツマイモをはじめ多くの野菜を栽培しています。まゆさんは農繁期には手伝うものの、結婚後もしばらくは看護師を続けていました。「誰々さんのお嫁さん」、子どもができてからは「誰々ちゃんのお母さん」と呼ばれ、高橋まゆさんと呼ばれることは少なかったといいます。

けれどマルシェを通して様々な職種の方との交流も増え、まわりの方々の意識も変化してきたそうです。試行錯誤で開いた第一回のマルシェは七月下旬。その時の反響を踏まえ二回目を開く事に。Facebookで情報提供し、周りに声をかけ、より規模が大きくなり、周りとのつながりが広がりました。



《取材を終えて》

- \* 公民館は地域の心の拠りどころ、みんなと楽しく公民館を盛り立てていきたいと語られ、とてもバイタリティーあふれる方でした。お宅で見せていただいた型紙の美しさにただただ見とれてしまいました。(渡邊)
- \* とにかくパワフル、やさしい口調に秘めた思いは図りしれません。私も藍染や、型紙づくりに挑戦してみたいと思いました。(齊藤)
- \* 地元で根差して様々な活動をしている、パワーいっぱいの一色さん。型紙を見せてもらいながら、その美しさに見とれ日本古来のデザインの美しさに声も出ませんでした。三芳町に於て栄えたであろう藍染の技術、また広く復活できないものかと強く感じました。(横山)



## 広がれ、カミトメマルシェ

まだスタートしたばかりですが、こうした活動が上富の新しい動きとして芽生えてきています。

このマルシェには「OMO cafe」、パ工房KUU、江戸屋弘東園、TATA BATAEN CAFE、野菜生産農家の久保さん、早川さん、フェルト加工や雑貨屋さんなど女性が活躍しているグループをはじめ地域のつながりが広がりがわいた。家族やパートナーたちの協力のもと、カミトメマルシェが発展して賑わい、三芳の憩いの場になることを期待しています。



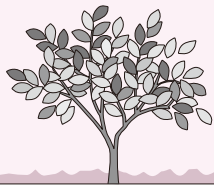
## 《取材を終えて》

ケヤキ並木が続く上富のいも街道は、四季折々様々な姿を見せてくれます。芽吹きの頃や紅葉の時の美しさは何とも言えません。女性と農家とのコラボで、今後上富に新しい魅力が生まれてくる予感を感じました。今後の活動が楽しみです。

(高橋、神奈川、富澤、横山)



## 男女共同参画推進フォーラム | N国立女性教育会館（ヌエック）



# つなぐ、あらたな明日へ

～女性も男性もともに暮らしやすい社会を創る～

毎年、武蔵嵐山のヌエックで開催されるフォーラム、今年も皆で参加してきました。全国から沢山の人が、2日間にわたって、女性をめぐる様々な課題に取り組んでいました。

1日目

8月25日

《特別講演》

### 『変わる勇気、変えるアクション』

～女性も男性もともに暮らしやすい社会を創る～  
(ソウルオリンピック柔道銅メダリスト 山口香氏)

柔道家の山口さんが語ったのは、スポーツ界での女性が考えている問題と一般社会での女性が抱えている問題が共通しているということだった。オリンピックに出場している選手は男女ほぼ同数、しかしコーチや役員になる女性は少ない。一般社会においても働く女性は多いが、責任ある立場につく女性は少ない。長い歴史の中で刷り込まれたジェンダーバイアス(性別等に関する偏見)を取り除いていくことは容易ではない。

山口さんはいま、筑波大学で教鞭をとっているが、ここまで行くのは様々な困難があったと思う。しかし『出る杭は打たれる』が、“出過ぎた杭は打たれない”を糧に「自分が変わる」ことで頑張ってきたと思った。(横山、吉田)

### ちょこっと コラム

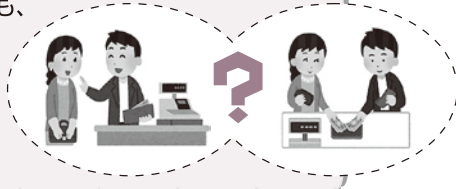
(ある家庭の会話)

息子「今日〇〇子と映画を観に行って、帰りに割り勘で夕飯食べてきたんだ」

母親「夕飯ぐらい〇〇男がおごってあげればよかったのに」

息子「お母さんはおかしいよ、いつも男女平等とか男女共同参画とか言っているのに、何で男だからっておごってあげなければいけないんだよ」

みなさんはこの会話をどう考えられましたか？気持ちでは理解していても、心の中は未だに性別的役割分担意識が根付いてしまっているのかもしれないね。



2日目

8月26日

《40周年記念シンポジウム》

### 『自分が変わる、社会を変える』

～明日に向けてのロードマップ～

旭化成株式会社で人事を担当してきた田中恭代さんは、障がい者雇用を進めるにあたり、男女の意識ではなく、その人に何ができるかを考えてきた。また、企業内保育は、親も一緒、子どもも一緒にいることのデメリットから自分がいる職場にはない。ただし、保育所に預けるための補助はしている。結婚を考えると、女性は仕事を続けるか辞めるか選択するが、男性は仕事を辞められないという。

関西大学文学部教授の多賀太さんは、「男性＝標準」「男社会の常識＝一般社会の常識」となっている世の中の図式を問い直す必要がある。共働き世帯が増加する一方で、多くの男性はいまだに一家の稼ぎ主となっているが、これからは女性の経済的自立が不可欠となっていく。また、地域の「長」のほとんどは男性がなり、「縁の下」で支えるのは多くの女性。平日の住宅地を歩いたり、子どもと遊んでいる男性に「今日はお休みですか」と声を掛けるのもおかしいのでは？と話された。今後に向けては、社会的成功や金銭的欲求と家庭責任や生活の質との折り合いを見つけること。男女共同参画の視点に立った男子生徒・学生へのライフプラン教育が必要と締めくくられた。

(齊藤)





男女平等参画について考える  
日本女性会議  
2017とまこまい

日本女性会議2017 とまこまい 2017.10.13・14

# 北の大地で語ろう これからの未来の一步を

## ダウン症の娘と共に生きて 金澤泰子さん、翔子さん親子



ステージ上で母に紙を支えてもらって「共に生きる」の言葉を力強く書く姿に感激。純粹・無垢な心で書く書は感動を与える。

母である泰子さんがダウン症の娘から学んだこととして「競争心がない、無心の心を持っている、感性が豊か」、「翔子は純度の高い素晴らしい愛だけを受け止める人に育った。生きていけば絶望感はない。」ということを教えてもらった、と語る。今、翔子さんは周りの人からのたくさんの愛を受け、一人ぐらしをエンジョイしている。



今年の日本女性会議は北海道苫小牧で開催。大会実行委員長の高橋雅子さんは、苫小牧男女平等推進協議会の会長でもあり、毎年武蔵嵐山又エックのフォーラムに参加して勉強したことがこの開催を決めたきっかけと話された。

私たちも近くの気安さで、毎年武蔵嵐山又エックには参加していたが、北海道からはるばる参加していた方の意気込みはすばらしいと感じた。

## トピックス

**日本の男女格差は、  
世界144か国中  
114位、  
過去最低！**

●ダボス会議を主催する「世界経済フォーラム」は2017年版の「ジェンダーギャップ指数」を発表。日本は健康の分野では1位だが、政治分野123位、経済参画114位、教育76位となっている。

《結果を見て感じたこと》

日本の教育水準は高いと思っていたが、高等教育の在学率は101位であり、驚きだった。「女の子はそんなにガツガツして大学まで行かなくてもよい」という考えがまだ残っていた。それが政治や経済分野で出遅れている一因とも思われる。

## 脳神経外科医 高橋義男氏特別講演

渡る世間は嘘ばかり・・・"格差社会を打ち破る"  
～思考停止の世の中、あきらめないで本質をつく～

- ちょっと型破りの高橋義男さんの話は面白かった。今の時代、人任せで思考停止になっている。「テレビが言っていた」「新聞に書いてあった」「誰かが言っていた」「ネットにある」「先生が言っていた」等々。だから脳を使わず人の言いなりになってしまう。そして脳萎縮・・・。ストレス障害、うつ、自殺の話は衝撃だった。
- 高齢者の子ども返りというが、昨日できなかったことが今日できるのが子ども、昨日できたことが今日できなくなるのが高齢者、ということも考えさせられた。
- 苫小牧の高齢者比率は26.98%、三芳町と変わらない。シニア世代の社会参加と社会貢献、地域に貢献しながら一緒に歳をとろうという取り組みの工夫に光を見出している。
- 顔晴れ(がんばれ)！、認知笑(にんちしょう)、認知症があってもなくても笑顔があふれるまちに。という言葉が深く心に残った。

開会あいさつをする高橋委員長



# 考えよう、私たちの働き方



働き方が話題になっているね。

私も仕事は続けたいけど……。子育てを考えると、もっと休暇が取りやすくて、残業がすくなければいいな。



私は短時間勤務を利用しているよ。在宅勤務など出社しないで働くテレワークを導入している会社もあるみたい。

働き方の選択肢が広がると働き続けやすくなるね。



若い女性の中に専業主婦志向の人も増えているという話も聞くけど。

仕事と家庭の両立が難しいということの裏返しかなあ。家事や育児を男性と一緒に担える社会になるといいんだけど。

いろいろな事情を抱えながら働いている人も多いね。働き方を選択肢の中から選ぶことができれば、働きやすくて暮らしやすい社会につながるんじゃないかな。



……広報誌「With You さいたま」vol.54より転載……

## ●核家族化が進んで

高度経済成長期に進んだ核家族化で「男は外で働き、女は家事・育児」という性別役割分担が定着し、夫が正規雇用者として働き、稼ぎ主として家族を養う男性中心型の労働慣行が形成されてきました。そして、女性は経済的基盤を持ちにくく、稼ぎ主（主に夫）に経済的に依存せざるをえませんでした。

## ●働き方の現状

初めは正規雇用で働いていた女性も、結婚や出産後、家事・育児等との両立を目指そうとすると、その難しさから離職することが多くなっています。

子育てが一段落した後の再就職のほとんどはパート・アルバイト等の非正規雇用で、埼玉県では女性の雇用者全体に占める非正規雇用者の割合は62%に上り、低賃金で不安定な状況に置かれます。同じ仕事には同一の賃金が支払われる「同一価値労働同一賃金」の制度を整えていくことが必要ではないでしょうか。

## ●働き方を見直そう

ライフスタイルは多様化してきましたが、働き方の選択肢は増えていないのが現状です。育児に積極的に関わる男性は増えてきてはいますが、その実情はまだ十分ではありません。

女性が働きやすい社会とは、男性にとっても、また、様々な事情を抱えながら働く人々にとっても働きやすい社会といえます。

社会全体で私たちの働き方を見直していきましょう。

## LGBTを知っていますか？

LGBT(エル・ジー・ビー・ティー)とは女性同性愛者のLesbian(レズビアン)、男性同性愛者のGay(ゲイ)、両性愛者のBisexual(バイセクシャル)、身体と心の性が一致していないため身体の性に違和感を持ったり、心の性と一致する性別で生きたいと望む人のTransgender(トランスジェンダー)の総称で、それぞれの頭文字をつなげた略語です。

LGBTは、人口に占める割合が少ないことからセクシャルマイノリティー(性的少数者)といわれることもあります。

「性のあり方」は個人の尊厳にかかわる大切な問題です。一人ひとりの性の多様性を認め合い、誰もが過ごしやすい環境をつくっていききたいですね。

L…Lesbian(レズビアン)

G…Gay(ゲイ)

B…Bisexual(バイセクシャル)

T…Transgender(トランスジェンダー)



# ヒューマンフェスタ2018 平成30年2月3日 IN コピスみよし

## 《テーマ》 マスオの人権問題考

# 『ことばはプレゼント』



サザエさんのテーマソングによって、軽快な足取りで登場した増岡さん。サザエさんは48年間放送され続け、2代目マスオさんとしておなじみの声優を続けている。

声優として言葉を大事にしている。母親が発する一番多い言葉は「早くしなさい」。これを「早くしてくれたらうれしい、何か手伝うことある?」といった方が、子どもに伝わる。目も耳も見、聞くだけでなく、気配、様子も記憶し、再生できる。言葉は出したら戻らない。凶器にもなる。相手が受け取ってくれなければただの音、何の役にも立たない。

観客をステージにあげ、見えないボールのキャッチボール。ボールは客席にも投げられ、また戻ってくる。相手が受け取ってくれなければ意味がないとゲームを通じながらその大切さを話す。世の中、見えないけれど大切なものがたくさんある。大切なのは心、愛があること。明日も見えないけれど、今を大切にしましよと締めくくる。

・80代とは思えない張りのある声で、夫婦・人とのつながりを話す姿が印象的であった。



増岡 弘さん



## 平成29年度 三芳町男女共同参画推進会議 活動報告

推進会議では、毎月の定例会議(第2金曜日、年間12回)の他、次の様な活動をしてきました。

5月16日	埼玉県男女共同参画担当職員研修会・まなぞしの紹介(2名)
6月21日	男女共同参画社会づくりに向けての全国会議(4名)
6月23日~29日	全国男女共同参画週間(藤久保公民館にてパネル展示)
6月27日	ドメスティックバイオレンスに関するDVD上映会
8月25日~26日	国立女性会館主催男女共同参画推進フォーラム(7名)
10月13日~14日	日本女性会議2017苫小牧(6名)
2月3日	ヒューマンフェスタ2018(増岡弘氏講演)
3月1日	情報誌「まなぞし」第16号発行
3月17日	まちづくりフェア2018
3月	提言書(町長へ提出)

●その他下記の会議等に委員として参加しています。

- |             |                     |
|-------------|---------------------|
| ①防災会議       | ⑦総合計画審議会            |
| ②子ども・子育て審議会 | ⑧行政改革懇談会            |
| ③社会教育委員     | ⑨行政相談委員             |
| ④社会福祉協議会評議員 | ⑩まち・ひと・しごと創生総合戦略審議会 |
| ⑤下水道審議会     | ⑪人権教育推進協議会          |
| ⑥被表彰者選考委員会  |                     |



# わたらしいわたし...であるために

ご利用ください

## ●みよしまち女性相談

★女性の視点に立った悩み・困りごと相談

- 日 時：毎月第2・4金曜日  
午前11時～午後3時20分(予約制)
- 場 所：役場1階 住民相談室
- 相談員：専門の心理カウンセラー(女性)
- 相談料：無料
- 申込み：総務課 人権・庶務担当  
電話**049-258-0019**(内線404)

\*電話または面談での相談ができます。  
秘密は固く守ります。

## ●埼玉男性相談

★つらくても相談できない、弱音を吐いてはいけない...。などと思いませんか？  
悩みや生きづらさを感じている男性は、是非ご利用ください。

- 電 話：**048-601-2175**
- 日 時：毎月第4日曜日  
午前11時～午後3時
- 相談員：臨床心理士(男性)
- 相談料：無料

※詳細はWith You さいたまにてご確認ください。

●**DV等に関する相談窓口** パートナーや恋人など親密な間柄で行われる暴力行為を、ドメスティック・バイオレンス(DV)といいます。DVは犯罪にもなる許されない行為です。

《緊急の場合は迷わず110番》

実施機関・相談の名称	受付日	受付時間	電話番号
埼玉県配偶者暴力相談支援センター (埼玉県婦人相談センター DV相談担当)	月～土 日・祝	9:30～20:30 9:30～17:00 (年末年始を除く)	048-863-6060
With You さいたま (埼玉県男女共同参画推進センター)	月～土	10:00～20:30 (祝日・年末年始・第3木曜日を除く)	048-600-3800
警察安全相談 (東入間警察署 生活安全課)	月～金	9:00～17:00 (祝日・年末年始を除く)	049-269-0110
埼玉県警察犯罪被害者支援室	月～金	8:30～17:15 (祝日・年末年始を除く)	0120-381858
児童相談所全国共通ダイヤル	—	24時間365日対応	189

## 編集後記

2年間の任期が終わるにあたり、3月に町長あてに提言書を提出します。  
どんなことを提言するか？課題山積で頭を悩ませています。  
この委員会ができてから8回目の提出。  
少しでも行政に反映されたらありがたいと思います。

## ご意見・ご感想をお待ちしています

〒354-8555 三芳町藤久保1100番地1  
三芳町役場 総務課 人権・庶務担当  
「まなざし・お便りコーナー」宛  
FAX 049-274-1055  
E-mail:soumu@town.saitama-miyoshi.lg.jp

## ＊平成28・29年度(第8期)

### 三芳町男女共同参画推進会議委員

笠間紀子	神奈川三樹江	齊藤富美江	酒井妙子
志村美代子	高橋昌子	富澤喜代美	濱砂豊子
山崎和美	横山八重子	渡邊好子	

「まなざし」Vol.16 2018・3(年一回発行)

発行 三芳町 総務課 人権・庶務担当 TEL.049-258-0019(内線404)

※この情報誌は男女共同参画推進会議が企画・編集しました。